



住民票に方書を 表示します

問い合わせ 市民税務課 ☎2143

7月8日から市民税務課・各支所で発行する住民票などの証明書類に方書が表示されます。
方書とは、アパートやマンションなどの集合住宅の建物名、居室番号などのことです。
方書の表示がない世帯の方は、郵便物が正確に届かない事が懸念されます。

なお、方書を登録していない世帯、または新たに方書の登録を希望する方は、届出が必要になりますので、本人確認書類（運転免許証、写真付き住民カードなど）を持参のうえ、市民税務課・各支所にて手続きをお願いします。

変更前
大竹市新町1丁目○番○号

変更後
大竹市新町1丁目○番○号
△△アパート□□号

大竹市新町1丁目○番○号
△△様方

住民基本台帳カードをお持ちの方へ
7月8日より前に交付された住民基本台帳カードには、方書が記載されていません。カードに方書の記載を希望する場合、7月8日以降に、住民基本台帳カードを市民税務課へ持参してください。



外国人住民の皆さん。 住基ネットの運用が 始まります

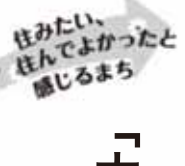
問い合わせ 市民税務課 ☎2143

2013年7月8日から、外国人住民の方についても住民基本台帳ネットワークシステム(住基ネット)の運用が開始されます。
住基ネットは、住民サービスの向上と行政の効率化を目的として、全国の市町村の住民基本台帳を専用回線で結び、4情報(氏名、住所、性別、生年月日)と住民票コード(住民個人を単位として設定される全国共通のコードで、11桁の数字からなる番号です。)およびこれらの変更情報を提供することにより、全国共通の本人確認ができるシステムです。

対象者には7月8日以降に住民票コード通知書を送付します。

2013年7月8日からできるようになることの例

○お住まいの市区町村以外でも住民票の写しの交付を受けることができるようになります。
○住民基本台帳カード(住基カード)の交付を受けることができるようになります。住基カードは、セキュリティに優れたICカードで、「写真付き住基カード」は公的な証明書として使えます。



「大竹市民の幸せ感に 関するアンケート」結果発表 No.6

幸せのキーワードは、心とからだの健康

問い合わせ 企画財政課 ☎2125

大竹市民の幸せ感に関するアンケートは、幸せ感を毎年数値的に確認し、結果から見えてくる行政課題の解決に取り組みながら、第五次大竹市総合計画「わがまちプラン」を推進していくために行っています。
今回は、「普段の生活の中で心配に思っていること」と「どのような時に幸せを感じるか」という質問に対する回答から、見えてきた課題について紹介します。

アンケート実施期間
平成24年7月2日～27日

有効回答数
322件

幸せは健康から

「どのような時に幸せを感じるのか」という質問に対する回答の大部分は、決して特別ではない、普段の生活におけるささやかな出来事に幸せを感じているという内容でした。これは前回のアンケートでも同じ結果でした。

この幸せをいつまでも感じていたくためには、市民の皆さんが健康であることが前提であると思えます。

健康を維持していくには、健診や早めの外来受診などで、病気を早期発見・治療し、重症化するのを防ぐことが大切です。

回答の 一部を紹介

幸せに感じること

- 家族に幸せ**
- 家族で食卓を囲み、一日の出来事を語り合い、笑い合っているとき。
 - 夫婦でいろいろな事について話し合いができること。
 - 子どもが元気に成長する姿を見るとき。
 - 孫と一緒に魚釣り、公園ですごしているとき。
- 健康で幸せ**
- 自分自身が健康であるので日々が楽しいです。
 - 身体を動かしてしっかり遊べて、そのあとのビール。
 - 健康に不安を感じる年になり、改めて健康の大切さを実感したとき。
- 好きなことができて幸せ**
- ドライブに行ったり、おしゃべりしたり、美味しい物を食べたりするとき。
 - 自分で育てた野菜や花を眺めているとき。
 - ひいきのスポーツ選手や団体が活躍したとき。
- 良好な人間関係に幸せ**
- 友達と軽く飲んだり、食事をしたり、楽しく雑談するとき。
 - しばらく会っていない同級生や友達と同窓会で集まったとき。
 - 町内の行事に参加者が笑顔で集まり、笑顔で解散するとき。

心配に思っていること

- 家族の心配**
- 両親の将来、介護が必要になったときの身の回りの世話が難しい。
 - 子ども達が大人になり、大竹に住んでくれるか心配です。
 - 子どもの登下校の安全に関心すぎるため、毎日のように心配する。
- 老後の心配**
- 地域に働き場が少なく、子ども達が市外に出て行き、老後が少し心配。身体が不自由になったとき。
 - 高齢者が住んでいけるか不安。
 - 自分達が年をとった時に、生活は普通にできるのだろうか。
- 医療などの心配**
- 夜間、休日の病院の診療がない。
 - 夜間、日、祝日に倒れたとき、救急車が早く来ても受け入れ先の病院がなかなか見つからなくて、生命が助かるも失うも運しかない気がする。
 - この先、結婚しても子どもを産める病院がない。
- 安心・安全の心配**
- 災害にあった時に、近所の人達が協力して避難できるか少々心配。
 - 不審者などが出た場合の地域のつながり。
 - 空き家が増えることで、環境が悪くなる。

今年もアンケートを送付しますので、届いた方は、ご協力をお願いします。